

日本の文化が壊れてゆく 「モンゴル人力士」 日馬富士の 引退会見がひどい。

日馬富士の引退会見(福岡県太宰府市)

同じモンゴル人力士の「貴ノ岩」(貴乃花部屋)に横綱にあるまじき暴行を働き場所を休場するほどの大けがをさせ、引退に追い込まれた「横綱 日馬富士」。

記者会見が「伊勢ヶ濱親方」も同席して始まった。

師匠の伊勢ヶ濱親方の 「心からおわび」。

「横綱 日馬富士の引退届を提出しました。私は日馬富士を16歳という少年のころから見てきていますが、稽古、稽古で精進したのみならず、色々な勉強もし、《難病救済など社会貢献》も行う珍しいタイプのお相撲さんだと思っていました。酒癖が悪いとか乱暴とか、私自身は見たことも聞いたこと

もない中で、なぜこのようなことになってしまったのか、ただただ不思議で残念でなりません。本人がいちばん悪いので

す。他人様のせいにするわけにはいきません。本当に申し訳ありませんでしたと言うしかありません。ただただ支えて頂いたファン、相撲協会の皆さんに心からおわびします」と涙ながらに話しました。

日馬富士は「やってはいけないことやってしまった」

日馬富士は冒頭、「このたび、貴ノ岩関にけがを負わせたことに対し、お



わびをさせていただきます。相撲ファン、相撲協会、後援会の皆様、伊勢ヶ濱親方に大変迷惑をかけたことを心から深くおわび申し上げます」と話したうえで、およそ20秒にわたって深々と頭を下げました。

日馬富士は引退の理由について「親方と話して、横綱としてやってはいけないことを自分がやってしまった」と話しました。そのうえで届け出が29日になったことについて、「場所中だったので、頑張っている力士たちに頑張してほしいということから本日より」と話しました。

日馬富士「相撲を愛している」

日馬富士は、暴力に至った理由について「先輩の横綱として、礼儀と礼節がなっていない時にそれを教えるのが

義務だと思っている。叱ったことが、彼を傷つけ、世間を騒がし、相撲ファン、協会、後援会の皆さんに大変迷惑をかけてしまうことになってしまいました」と話しました。

日馬富士は「人様に迷惑をかけず人として生きる。相撲を通じて縁があった方々、私を支えてくれたファンのおかげで75代横綱になることができました。相撲を愛しています。ファンの皆様に心からおわびを申し上げて心から感謝、感謝、感謝を申し上げたい」と話していました。

記者「貴ノ岩に対してどんな気持ちか」

日馬富士「傷つけて申し訳なかった。貴ノ岩はこれから礼節と礼儀をしっかりして頑張っていってほしいと思う」



『?!』という文字が浮かぶ。本当に謝っているのだろうか？主張をしているように見える。

「日馬富士」氏は絵を描いても上手でなかなか素晴らしい。とてもやさしい人柄は日本のファンにも愛されている。相撲社会という狭い社会。

中でも、モンゴル人の力士は多い。しかし日本ではモンゴル人力士はそれほどポピュラーな存在ではない。

16歳から日本で相撲を取っていても、日本社会の中では相撲界そのものが特殊な社会である。現代の日本人は鬻も結わなければマワシも締めない。

日馬富士はそれだからこそ礼儀に気を付けていたのだろう。モンゴル人の先輩横綱として後輩たちに自分が経験してきたことを伝えたかったのだ、と思う。しかし謝罪しているようには見えない。

特殊な社会の特殊な環境で起きた悲劇が日馬富士の可愛がり（暴行事件）である。

可愛がられた貴ノ岩はモンゴル人力士といえど、貴乃花部屋の力士。

伊勢ヶ浜部屋の所属ではない。伊勢ヶ浜部屋の日馬富士が横綱だからといって貴乃花親方の許可なく可愛がってよいのか？

日馬富士も「横綱」まで行っているのにそんなこともわからなくては困った奴と言わざるを得ない。

「酒癖が悪い」という自覚がないのかなあ。

酒は「狂い水」（きやがいみず）。

伊勢ヶ浜親方はなぜ、日馬富士に「暴力はふるっちゃいけない」と教えなかったのか？

暴力事件として警察、検察へ書類送検が不可避な日馬富士。日本への帰化手続きをしていたのなら、なぜ伊勢ヶ浜親方は日馬富士を注意深く見ていなかったのか？白鵬たちと一緒に時には特に注意を喚起しなかったのか？どうやら伊勢ヶ浜親方の管理不行き届きの気がしてならない。日馬富士の伊勢ヶ浜親方も相撲協会も横審もペナルティーを受けるべきなのです。

また被害者の貴ノ岩は貴乃花親方に正直に話しをしなかったのはケシカラン。「階段で転んだ」という嘘を聞かされる貴乃花親方は絶望状態ではなかっただろうか？大変がっかりしたに違いない。

モンゴル力士同士の交流を禁じていた貴乃花部屋のガチンコ力士を怪我させた時点でこの結末は分かっていた、こと。

モンゴル力士の皆さん：日本まで来て星のやり取りで八百長するならさっさとモンゴルへ帰ってネ。

モンゴルの星勘定

ところで、モンゴル人力士同士の優勝決定戦を見たことがありますか？

私はありません。何か好調のモンゴル力士が1人いると自然な感じでその力士の優勝が決まってしまう。まるで、話し合いで最初から優勝力士が決まっているようで不思議です。貴ノ岩は白鵬にガチンコで勝ったことがあり、今回の貴ノ岩可愛がり（暴行）事件はモンゴル力士グループが貴ノ岩に礼儀を教えるのが目的だったといいます。貴ノ岩は貴乃花親方から常々勝負の世界だから現役のうちと同じモンゴル力士どうしといえども、あまり親しくするな、といいつけられています。

貴ノ岩は自分が通っていた学校のお世話になった先生の経営するお店で同窓会をやる、ということで貴乃花親方の許可をもらいます。そこへ合流してきたのが白鵬・日馬富士・鶴竜、照ノ富士などの横綱等モンゴル力士の面々。一次会が終わり事件のあったラウンジに移るころには日馬富士はすっかり酩酊状態。日馬富士



貴ノ岩

は貴ノ岩に「生意気なんだよ」「挨拶が大事だ」「ここは日本だから礼儀が大事だ」とお説教を始める。

★白鵬が日馬富士に目配せし、その時に貴ノ岩のスマホが鳴り、彼女からです、とスマホを操作した瞬間。日馬富士が襲い掛かった、ということになっている。

「相撲」は日本の神事

「日本書紀」によれば「相撲の起源」は垂仁天皇の時代に当麻蹴早（タイマノケハヤ）という力自慢がいることを知った天皇は出雲の国の力自慢 野見宿禰（ノミノスクネ）と戦わせてみる。この勝負は野見宿禰が当麻蹴早の肋骨と腰骨を蹴り折って勝ち。これが相撲の起源となった。昭和天皇は相撲が大変にお好きで両国国技館へよくお見えになった。今上天皇もたびたび足を運ばれている。



貴乃花親方

石原慎太郎先生のツイッターが最も

的を射ているように思える。

さすがに作家の感性。

余裕で「政治家」「東京都知事」をなさつたわけではない。

「あくまで作家としての憶測」としながらも、日馬富士の暴行事件は白鵬が「弟分の日馬富士をそそのかしてやらせたのではないか」と正鵠を射る。

警察に被害届を出した貴乃花親方を「勇氣は素晴らしい」と絶賛し、横綱白鵬については「横綱は何をしてでも勝てばいいというものではない」

と、白鵬の相撲について苦言を呈している。「日馬富士事件の真相は千秋楽の挨拶で見せた白鵬の僭越驕りからして彼が弟分の日馬富士、をそそのかしてやらせたのではないか、と思う」

と大胆かつ一步踏み込む仮説を披露している。

そして

「最近の白鵬 驕った姿勢は鼻持ちならない」と辛辣な言葉で白鵬を非難していた。

白鵬がそそのかしたとはいえ、暴行を加えたのは日馬富士。

実行犯が裁きを受けるのは当然だが、モンゴル力士の中で大横綱は白鵬。

事件の現場に同席していたことは間違いない。

モンゴル力士によるモンゴル力士『貴ノ岩』への「リンチ」でないのなら、大横綱白鵬は日馬富士が異常興奮状態で殴り始めたら直ぐに止めなければならない。

それをニヤニヤしながら「いい気味だ」と見ていたとしたら白鵬が「止めに入った」というのは「アリバイ作り」でしかない。モンゴル力士どうしの星の貸し借りがそもそもの原因なら、これほど日本の神事、国技を愚弄した事件はない。



白鵬 (左)
日馬富士 (右)